

教育と保育のための 発達診断セミナー

ライフサイクルと発達診断の役割

2023.11.12 (日)

13:00~16:40

オンライン ライブ (見逃配信あり)

発達保障研究センター・全国障害者問題研究会 共催

【よびかけ】

発達への願いと明日の実践とを結ぶ
『新版 教育と保育のための発達診断』

テキスト編者

白石正久(龍谷大学名誉教授)・白石恵理子(滋賀大学教授)

「発達診断」とは、子どもや障害のある人びとの発達への願いや悩みを、発達理論に依りながら解き明かしていくことです。

保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援の保育・療育や乳幼児健診や親子教室などで働くみなさん。乳幼児期、学童期からどんな発達の歩みをつづけてきたのか、発達のつまずきはあっても、遊びや生活のなかで楽しさを覚え、友だちといっしょにいろいろなことに挑戦し、豊かに発達していったほしいと願っていることでしょう。

小中学校、特別支援学校、放課後等デイサービス、放課後児童クラブなどの学齢期の教育・支援で働くみなさん。子どもの本当の願いが見えなかったり、何を大切に実践したらよいかがつかめなくて苦しいときもあるでしょう。

青年・成人期の地域生活や就労支援で働くみなさん。この労働や活動が障害のある人びとの喜びになっているのか、彼らはどんな生活や人生を求めているのかを深く問いたいときもあるでしょう。

その願いや問いを大切にしながら日々の実践を創造するために、このテキストを作りました。たくさんの仲間を誘って、本セミナーにご参加ください。ここで学んだことを、職場や地域サークルなどで、いっしょに話しあってください。今、みなさんがつかんでいること、大事にしようと思っていること、悩んでいること、答えにつながる何かがきっと潜んでいるのだと思います。本セミナーが、それを見つけ出す手がかりになることを願ってやみません。

プログラム

1. 乳幼児期の実践と発達診断

大津方式の実践のなかから



発達をみる眼が子どもの理解を深め、子どもの発達支援、親の子育て支援で、子育てしやすい地域づくりへつなげる(上巻V-1章)

西原睦子さん(大津市幼保支援課)

2. 教育実践と発達診断

子ども理解から始まる授業づくり



実践的はたらきかけを通じて表面にあらわれた表出や行動を手がかりに、子どもの内面を生活の文脈の中から読み解く(上巻V-2章)

櫻井宏明さん(元 特別支援学校教員, 全障研事務局長)

3. 発達の障害と発達診断の視点

発達相談の実践のなかから



自閉スペクトラム症、重度の知的障害、重症心身障害などが、発達にもたらす機能・能力の「ずれ」や発達の原動力の制約について解説し、指導・支援を考える(上巻IV-1,2章、下巻III)

白石正久さん(龍谷大学名誉教授)

